



くらしの
アンテナ



つくる責任 つかう責任

人・社会・地域・環境に配慮したエシカル商品を選ぶ。
そのヒントのひとつが「認証ラベル・マーク」です。

国際フェアトレード (公正・公平な貿易)
Tシャツ、ワイン、チョコレート、花など

エコマーク
飲食店やホテルの取り組み、文具、ファッション製品、日用品、家具、家電など

GOTS (Global Organic Textile Standard)
(繊維製品のオーガニック世界基準)
オーガニックコットン洋服やタオルなどのコットン製品

FSC (Forest Stewardship Council)
(森林管理協議会：責任ある森林管理)
家具など木材製品やノートなどの紙製品

MSC (Marine Stewardship Council)
(海のエコラベル)
魚やカニ、エビ、貝類などの水産物

JAS (Japan Agricultural Standard)
有機JASマーク
農産物、農産物加工食品、畜産物、飼料

RAINFORREST ALLIANCE INC.
(レインフォレスト・アライアンス認証)
コーヒー、カカオ、茶類、バナナ、その他果物他

RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil)
(持続可能なパーム油のための円卓会議)
洗剤、石鹸、食用油

これらを目安に商品を選ぶことで働く人たちの人権、社会や環境などを守ることができます。
持続可能な社会を実現するための「私にもできるエシカル消費の第一歩」始めてみませんか？

「認証ラベル・マーク」は商品を選択するときのひとつの物差しとなりますが、これが付いていなくても持続可能な商品といえる場合があります。なぜなら、認証の審査などに高額な費用がかかるため、認証を受けていないケースがあるからです。
消費者がエシカル商品を選ぶことで、企業もそれを意識する方向に変わっていきます。これらに依存しなくてもいい社会の実現を目指しましょう。

いまが旬

「秋の雲」

暑い夏が終わった
乾いた涼やかな風にホッとし ふと空を見上げる
そこには 青い空に真白な雲
羊のような… 鱗(うろこ)のような…
よく見かけるけれど名前を知らない

規則的に並んだこの雲は
「ひつじ雲」別名「むら雲」
「うろこ雲」別名「いわし雲」「さば雲」「まだら雲」

空に向かって手を伸ばし 人差し指を雲にかざす
雲の塊が指からはみ出したら「ひつじ雲(高積雲)」
小指をかざして指に隠れたら「うろこ雲(巻積雲)」

秋の雲は他にもある
刷毛でさっと描いたような形の「すじ雲」は
もっとも高いところに現れる雲のひとつ

読書の合間に空を見上げて
秋の訪れを見つけては？

お問合せは消費生活センターへ ☎(042)555-1111 ㊟640

**突然、身に覚えのないサイトから
料金請求のSMSがきた！**



まったく心あたりがないところから、「有料サイトの未納料金が発生しています。本日中に連絡がない場合は法的手段に移行します」というSMS(ショートメールメッセージ)がスマートフォンに届きました。どうしたらよいですか。



消費生活センターにこのような相談が多く寄せられています。SMSの内容には、「自宅へ出向く」「勤務先を調査」「差し押さえ」「強制執行」などの不安をあおるような表現があるものや、実在する事業者名を名乗るケースもあります。

相手に連絡すると、やり取りする中で金銭を請求されたり、新たに個人情報を知られることで、その後も同じようなSMSやメールが届くなど、被害が広がる可能性があります。

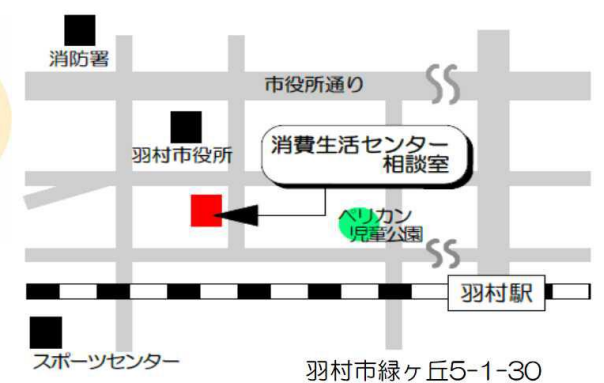


このようなSMSが届いたとしても身に覚えがない場合には、
★相手には連絡を入れずに様子を見ましょう。
届いたSMS等が架空請求か判断できない場合や不安な時は、
★羽村市消費者センターまたは
消費者ホットライン(188)にご相談ください。

ひとりで悩まず、まず相談！
専門の相談員がお話を伺います。
(秘密厳守・無料)

【相談日・相談時間】
平日 月～金曜日
午前9時30分～正午
午後1時～3時30分
☎(042)555-1111 ㊟641
FAX(042)555-5535

新型コロナウイルス
感染防止のため
来所の際は
マスクの着用を
お願いします。



実在する企業名が記載されています

5月17日
「はむらエコアクション・ポイント」
抽選会



賞品は
「ソーラーパネルとポータブル蓄電器
セット」「エネルギー」「和紙のち
りとりと帯のセット」「はむら米」
当選おめでとうございました！



今年度後期もぜひ
エコアクションに
挑戦してください



はむらエコアクション・ポイント事業HP ▲

7月21・29日
第1・2回
羽村市消費生活講座
SDGs入門
つくる責任つかう責任
オンラインで実施しました
多数のご参加ありがとうございました



SDGs を毎日の暮らしに取り込もう



7月に行われた初のオンラインによる
消費生活講座「SDGs入門」
幅広い年代の市民が今話題のテーマSDGsを学びました

SDGs なぜ今

SDGsとは「持続可能な開発目標」の意味で、2015年、
国連総会で全加盟国の賛成のもと採択されました。2016年
から2030年までの間に人類が力を合わせて達成すべき目標
が、17項目挙げられています。

- 1. 貧困をなくそう
- 2. 飢餓をゼロに
- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任 つかう責任
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさを守ろう
- 16. 平和と公正をすべての人に
- 17. パートナリーシップで 目標を達成しよう

おしらせ

いのちと暮らしを守る
第52回 羽村市消費者展 **中止**

市内で活動する消費者団体が
50年以上前から行っているイベントです
食・製品の安全や環境など
くらしに役立つ情報を
みなさまにお伝えしてきましたが
今年度は
新型コロナウイルス感染拡大のため
開催を中止しました

特集 「SDGs」 DVD&本

無料貸出中

貸出しご希望の方は
消費生活センター1階
消費生活係にお声かけください

『ザ・トゥルー・コスト
〜ファストファッション 真の代償〜』
ファッション業界でも
大量生産・大量消費が問題化
誰かの犠牲の上に成り立つファッションに
変化が起き始めた！トレンドはエシカル&
フェアトレード・ファッション
ファッション産業の今と、向かうべき
未来を描き出すドキュメンタリー

『TRASHED - ゴミ地球の代償 -』
ごみの環境問題はほかの誰でもない
人類の責任だが、代償を払うのは
地球上に住むすべての生物なのだ

地球が危ない

日々の暮らしの中、「何かが違ってきている」と感じることはありませんか？大雨による河川の氾濫、異常なほどの暑さ、プラスチックによる海洋汚染などなど、一昔前と比べ、確実に地球の環境は悪化しています。「何とかしなくちゃ」という思いは誰しも抱いているのでは？

私たちが生きていく上で必要な水や食料やエネルギーを、このまま使い続ければいつかはなくなってしまいます。これから生まれてくる人に残さなくてはならない未来の資源。将来にわたって地球で暮らしていけるよう、持続可能な地球にしなければなりません。

でも、どうやったら…？

「安いバナナや洋服は家計が助かる」と気軽に手にしていませんか？

「国産は高くて…」と言い訳して、なぜ安いのかはあまり考えないでカゴに入れます。もしそれが、低賃金や健康を脅かすような状態で働かされている、海外の人たちの手によってたらされていると知ったら…どうでしょう。

「ひょっとしたら、誰かの犠牲の上に成り立っているのでは？」と考えてみるのがいま求められているのです。

エシカル消費

エシカルは「倫理的な」という意味です。環境・人・社会・地域に配慮して作られたものを買うこと、ほんのちょっと目先を転じ、暮らし方を変えることが、世界で起きている問題の解決につながるのです。

環境にやさしいエコ商品、リサイクル商品、フェアトレードの商品などを選ぶことで、それを作っている人や売っている人の想いを応援することになり、問題の解決へとつながっていく。目的をもって取り組んでいる製品であることを示すマークがあります。それを目安に、買い物するのもいいでしょう。

フェアトレードの品

フェアトレードとは公正な取引という意味です。これまで、企業は利益を優先してなるべく経費を抑えることだけを考えて製品を作ってきました。その陰には低賃金で過酷な労働の犠牲になる人たちがたくさん出ていました。学校に行けず働かざるをえない子どもたちも数多くいます。

これに対して、現地の生産者の生活を改善しながら、自立を支援することを基本にした製品作りの仕組みが、フェアトレードです。その価格には生産者の賃金だけでなく、彼らが暮らす上で不可欠なインフラや教育のための資金も含まれているので割高にはなります。

未来へ贈り物を

ここまでくると、だんだん気が重くなってきそうです。全てを今すぐ解決しようなんて無理。でも、一人の力は小さいけれど、たくさんの人たちが集まればそれは大きな力になるのです。それぞれが、できることから。

見えないものを見る想像力をはたらかせて。
毎日の何気ない「買い物」が、地球の環境や海の向こうの
会ったこともない人々に影響を与えられるのですから。

